

	<h2>66. オリエンテーリング章</h2>	★ 考査員認定	
---	-------------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) オリエンテーリングの意義を説明し、その歴史について述べる。また、ポイントオリエンテーリングとスコアオリエンテーリングの違いを説明できること。	口述または記述	—
(2) 次のことができること。  ア 基本的な読図力を有すること。 イ 磁針の偏差の意味を説明する。 ウ 自宅がある地域の地形図に磁北線を引く。 エ シルバコンパスにより、バックベアリング、クロスベアリングができる。	口述または記述 実演	—
(3) コースの設定に必要な条件及び注意事項について説明すること。	口述または記述	—
(4) 都道府県オリエンテーリング協会・委員会などが主催するオリエンテーリング大会(少なくとも1つは個人の部に出場すること。他は「パーマネントコース」でもよい)3つに参加し、コースを記入した使用地図のコピーに自分のとったコース(赤線で)、各コントロール間の所要時間を記入した資料を添えて、レポートを提出すること。	証明書の提示および記録の提出	—
(5) 少なくとも5つのコントロールを有する2km以上の「ポイントオリエンテーリング」のコース、または制限時間を60分とする「スコアオリエンテーリング」のコースを考えて地図に記入し、「ポイント位置説明表」をそえて提出すること。	計画書の提出	—
(6) オリエンテーリングの基本的な技術を班や隊で指導できること。	隊長による証印の提出	・ 隊長の証印を要する。
(7) オリエンテーリングで守るべきエチケットを説明できること。	口述または記述	—

参考図書:ボーイスカウト日本連盟「地図とコンパス」